

2020年度 クラブ経営情報開示資料

2021年7月29日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
クラブ経営本部
クラブライセンス事務局

1-1. 主なトピックス



(1) **単年度赤字クラブは35クラブ(約6割)、債務超過に陥るクラブは10クラブ(約2割)**であった。昨年10月に発表した見通しでは、赤字クラブが全体の約8割、債務超過クラブが約4割であったが、各クラブの損益改善により、**その割合は減少**した。

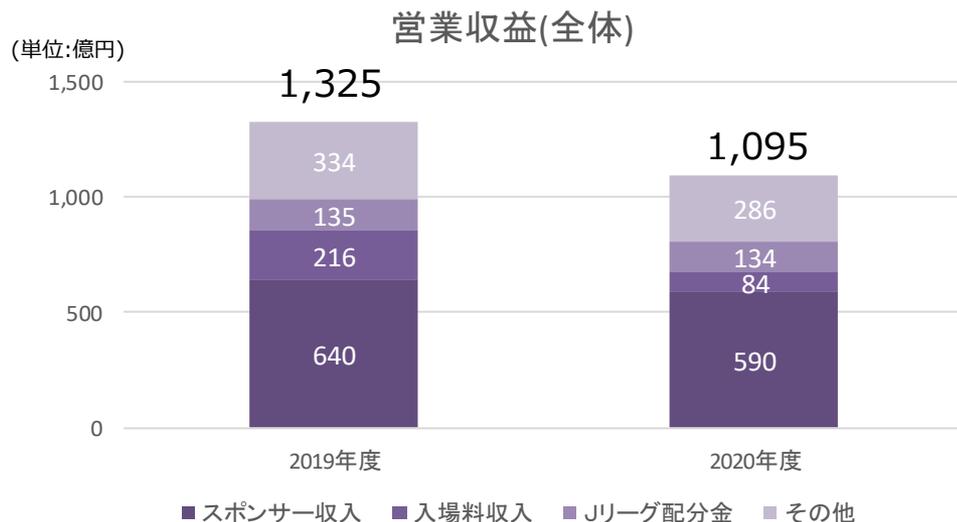
なお、経営の継続（資金繰り）が困難に陥っているクラブは存在しない。

(2) 新型コロナウイルスの影響により、超厳戒態勢でのリモートマッチや厳戒態勢で入場者数を制限して試合運営を行ったことで、**入場料収入が前年度と比較し約6割減**となった。

(3) それに伴い、試合関連経費やチーム運営経費が減少しているものの、チーム人件費は微減となった。

(4) スポンサー収入については、クラブを支えていただいているスポンサーの皆様のサポート継続により、前年度と比較し約1割の減少に留まった。

1 - 2. 営業収益(前年度比較)

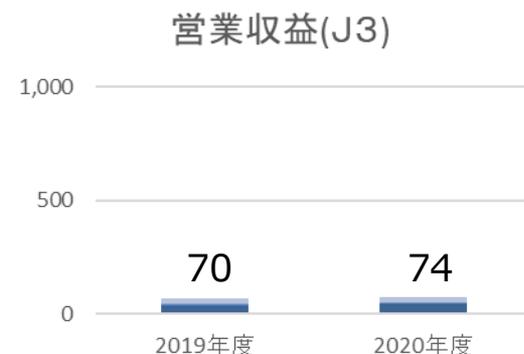
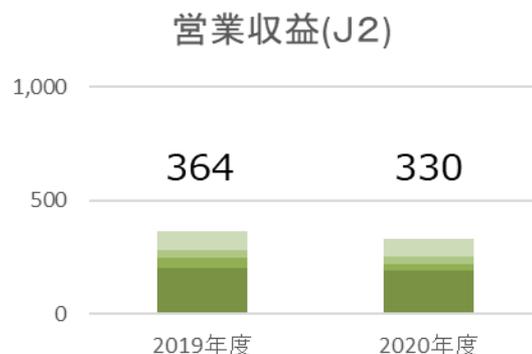
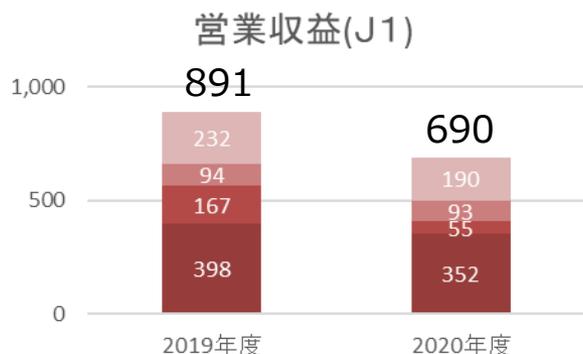


営業収益は、56クラブ合計で
1,095億円

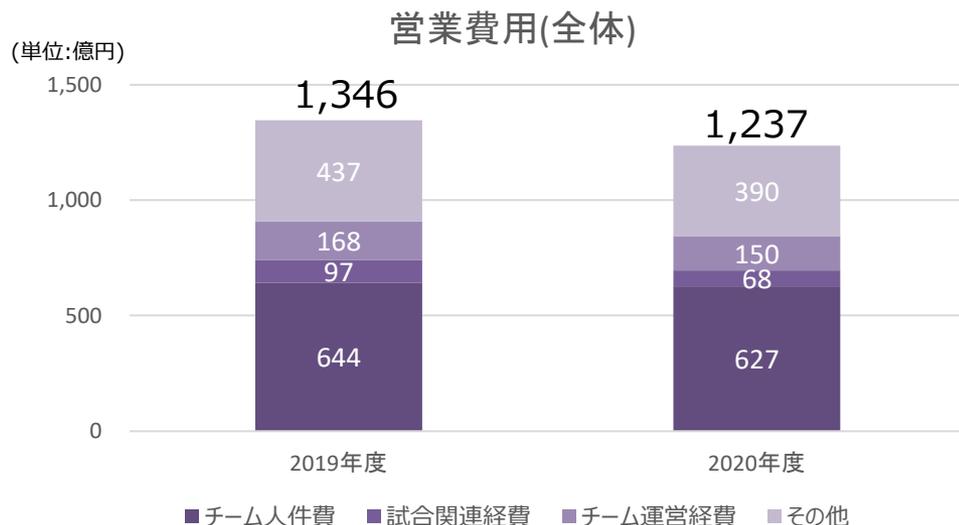
前年比約2割の減少となった

入場料収入は前年比約6割の減少となり、J 1 は約7割の減少となっている

スポンサー収入は約1割の減少に留まった



1 - 3. 営業費用(前年度比較)

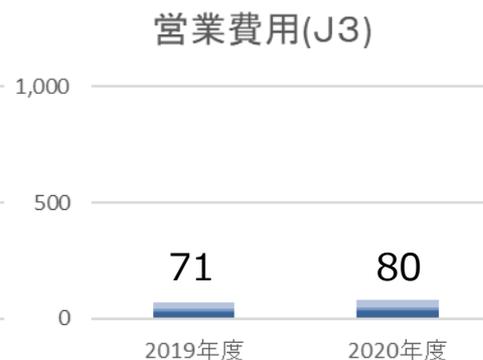
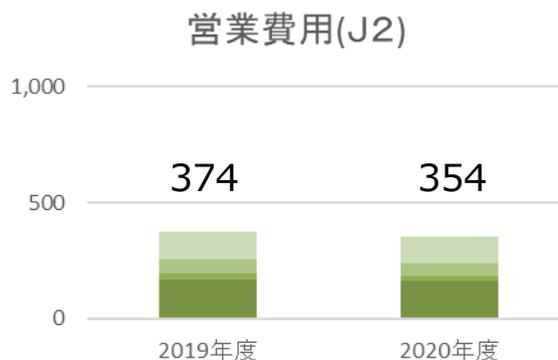
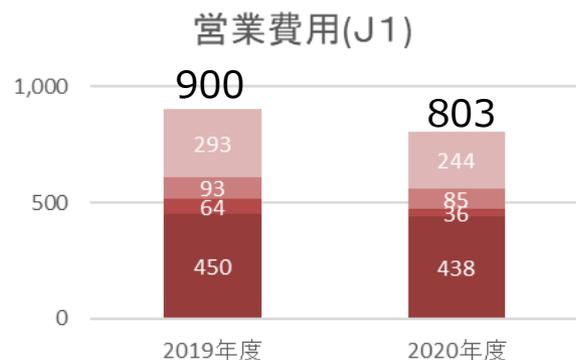


※チーム運営経費には、トップチーム運営経費、アカデミー運営経費、女子チーム運営経費が含まれる。

営業費用は、56クラブ合計で
1,237億円

前年比約1割の減少となった

リモートマッチや入場制限下での試合運営により、試合関連経費やチーム運営経費は減少しているが、チーム人件費は微減となった



1 - 4. 赤字・債務超過クラブ①



- 赤字クラブは35クラブ、債務超過クラブは10クラブ

【2020年度のJ1・J2・J3クラブの財務状況】

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	該当クラブ (2020年度)
クラブ数	53	54	54	55	56	
単年度赤字	13	14	18	23	35	札幌、仙台、鹿島、浦和、FC東京、川崎F、名古屋、G大阪、C大阪、広島、鳥栖、大分、山形、水戸、千葉、東京V、甲府、金沢、磐田、岡山、山口、福岡、長崎、琉球、岩手、秋田、YS横浜、相模原、長野、藤枝、沼津、鳥取、讃岐、熊本、鹿児島
債務超過	0	0	0	0	10	仙台、C大阪、鳥栖、東京V、山口、福岡、秋田、YS横浜、長野、鳥取

※福岡は昨年末の債務超過額を上回る増資を行っている

※2020年度については、3期連続赤字、債務超過とも財務基準に抵触しない

1 - 5. 赤字・債務超過クラブ②



- 当期純損失額については、**J 1**では**5億円以上が5クラブ**、**1～5億円が7クラブ**となっているが、**J 2**および**J 3**では**1億円未満**というクラブが多い。
- 債務超過額については、**J 1**では**2クラブが5億円以上**となっている。**J 2**および**J 3**クラブでも**1～5億円**という比較的大きな規模で債務超過に陥っているクラブが**3クラブ**ある。

(1) 赤字クラブ数と当期純損失額

	J1	J2	J3	計
5億円以上	5	1	0	6
1億円以上5億円未満	7	4	1	12
1億円未満	0	7	10	17
計	12	12	11	35

(2) 債務超過クラブ数と債務超過額

	J1	J2	J3	計
5億円以上	2	0	0	2
1億円以上5億円未満	1	2	1	4
1億円未満	0	1	3	4
計	3	3	4	10

1 - 6. 2021年度以降の財務基準



2021年度末までは特例措置を継続し、その後2年の猶予期間を設けた上で、元の基準に戻す（特例措置なし）こととしたい。

ただし、2021年度もコロナの状況・外部環境に大きな変化があった場合には、期間の延長を考える。

2020年度末	2021年度末	2022年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末以降
<p>【特例措置】</p> <ul style="list-style-type: none">債務超過、3期連続赤字をライセンス交付の判定対象としない2021年度末に新たに債務超過に陥っても判定対象としない		<p>【猶予期間】</p> <ul style="list-style-type: none">債務超過が解消されていなくてもよいが、前年度より債務超過額が増加してはいけない新たに債務超過に陥ってはいけない3期連続赤字のカウントをスタートする（2022年度末が1期目となる。2021年度以前の赤字についてはカウントしない）		<p>【特例措置なし】</p> <ul style="list-style-type: none">債務超過が解消されていなければならない2022年度末から赤字が継続しているクラブは、2024年度末に3期連続赤字に抵触する可能性がある	

2024年度のライセンス判定においては、2023年度が債務超過であっても判定対象としないが、進行期の2024年度が債務超過に陥らないかどうかは判定対象となる

Appendix

2-1. 前年度との比較：J1・J2・J3クラブ合計



全体で、**営業収益は約2割の減少**となっており、特にJ1の減少幅が大きい。
 内訳は、**入場料収入が約6割と大きく減少**し、**スポンサー収入は約1割の減少**に留まった。
入場料収入はJ1が約7割の減少となり、**J2およびJ3は4割程度の減少**となっている。
営業費用は1割程度減少しているが、**チーム人件費は微減**に留まっている。

(百万円)												
	J1合計			J2合計			J3合計			J1+J2+J3合計		
	2019年度 (18クラブ)	2020年度 (18クラブ)	前年比	2019年度 (22クラブ)	2020年度 (22クラブ)	前年比	2019年度 (15クラブ)	2020年度 (16クラブ)	前年比	2019年度 (55クラブ)	2020年度 (56クラブ)	前年比
1 営業収益	89,115	69,039	▲20,076	36,405	33,004	▲3,401	6,960	7,412	+452	132,480	109,455	▲23,025
2 スポンサー収入	39,832	35,205	▲4,627	20,411	19,281	▲1,130	3,776	4,492	+716	64,019	58,978	▲5,041
3 入場料収入	16,672	5,487	▲11,185	4,381	2,610	▲1,771	528	329	▲199	21,581	8,426	▲13,155
4 Jリーグ配分金	9,439	9,263	▲176	3,459	3,487	+28	594	621	+27	13,493	13,371	▲122
5 アカデミー関連収入	2,936	2,218	▲718	1,908	1,442	▲466	568	343	▲225	5,412	4,003	▲1,409
6 物販収入	7,851	6,628	▲1,223	2,131	2,083	▲48	377	391	+14	10,359	9,102	▲1,257
7 その他収入	12,386	10,238	▲2,148	4,115	4,100	▲15	1,116	1,236	+120	17,617	15,574	▲2,043
8 営業費用	89,999	80,265	▲9,734	37,427	35,424	▲2,003	7,132	8,004	+872	134,558	123,693	▲10,865
9 チーム人件費	45,008	43,753	▲1,255	16,822	16,024	▲798	2,528	2,969	+441	64,358	62,746	▲1,612
10 試合関連経費	6,358	3,565	▲2,793	2,802	2,623	▲179	495	625	+130	9,655	6,813	▲2,842
11 トップチーム運営経費	6,851	6,665	▲186	4,466	3,958	▲508	1,005	1,058	+53	12,322	11,681	▲641
12 アカデミー運営経費	2,268	1,626	▲642	1,523	1,100	▲423	344	206	▲138	4,135	2,932	▲1,203
13 女子チーム運営経費	214	186	▲28	161	147	▲14	41	29	▲12	416	362	▲54
14 物販関連費	5,558	4,740	▲818	1,599	1,632	+33	272	318	+46	7,429	6,690	▲739
15 販売費および一般管理費	23,742	19,730	▲4,012	10,052	9,939	▲113	2,447	2,799	+352	36,241	32,468	▲3,773
16 営業利益 (▲損失)	▲884	▲11,226	▲10,342	▲1,023	▲2,420	▲1,397	▲172	▲592	▲420	▲2,079	▲14,238	▲12,160
17 営業外収益	351	1,369	+1,018	378	845	+467	80	260	+180	809	2,474	+1,665
18 営業外費用	801	291	▲510	168	102	▲66	24	33	+9	993	426	▲567
19 経常利益 (▲損失)	▲1,334	▲10,148	▲8,814	▲813	▲1,679	▲866	▲116	▲365	▲249	▲2,263	▲12,192	▲9,929
20 特別利益	200	5,495	+5,295	36	857	+821	0	60	+60	236	6,412	+6,176
21 特別損失	370	643	+273	186	152	▲34	78	5	▲73	634	800	+165
22 税引前当期利益 (▲損失)	▲1,504	▲5,296	▲3,792	▲963	▲973	▲10	▲195	▲310	▲115	▲2,662	▲6,579	▲3,917
23 法人税および住民税等	565	39	▲526	32	125	+93	26	24	▲2	623	188	▲435
24 当期純利益 (▲損失)	▲2,070	▲5,335	▲3,265	▲994	▲1,097	▲103	▲220	▲334	▲114	▲3,284	▲6,767	▲3,483

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値が一部一致しないところがある。
 ※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

2-2. 前年度との比較：J1・J2・J3クラブ平均



上位クラブほど、前年からの減少幅が大きくなっている。
構成比は、全カテゴリーとも入場料収入が大きく減少している。

	(百万円)																	
	J1平均				J2平均				J3平均				J1+J2+J3平均					
	2019年度 (18クラブ)	構成比	2020年度 (18クラブ)	前年比	構成比	2019年度 (22クラブ)	構成比	2020年度 (22クラブ)	前年比	構成比	2019年度 (15クラブ)	構成比	2020年度 (16クラブ)	前年比	構成比	2019年度 (55クラブ)	2020年度 (56クラブ)	前年比
1 営業収益	4,951	100.0%	3,836	▲1,115	100.0%	1,655	100.0%	1,500	▲155	100.0%	464	100.0%	463	▲1	100.0%	2,409	1,955	▲454
2 スポンサー収入	2,213	44.7%	1,956	▲257	51.0%	928	56.1%	876	▲52	58.4%	252	54.3%	281	+29	60.6%	1,164	1,053	▲111
3 入場料収入	926	18.7%	305	▲621	8.0%	199	12.0%	119	▲80	7.9%	35	7.6%	21	▲15	4.4%	392	150	▲242
4 Jリーグ配分金	524	10.6%	515	▲9	13.4%	157	9.5%	159	+2	10.6%	40	8.5%	39	▲1	8.4%	245	239	▲7
5 アカデミー関連収入	163	3.3%	123	▲40	3.2%	87	5.3%	66	▲21	4.4%	38	8.2%	21	▲16	4.6%	98	71	▲27
6 物販収入	436	8.8%	368	▲68	9.6%	97	5.9%	95	▲2	6.3%	25	5.4%	24	▲1	5.3%	188	163	▲26
7 その他収入	688	13.9%	569	▲119	14.8%	187	11.3%	186	▲1	12.4%	74	16.0%	77	+3	16.7%	320	278	▲42
8 営業費用	5,000	100.0%	4,459	▲541	100.0%	1,701	100.0%	1,610	▲91	100.0%	475	100.0%	500	+25	100.0%	2,447	2,209	▲238
9 チーム人件費	2,500	50.0%	2,431	▲69	54.5%	765	45.0%	728	▲37	45.2%	169	35.4%	186	+17	37.1%	1,170	1,120	▲50
10 試合関連経費	353	7.1%	198	▲155	4.4%	127	7.5%	119	▲8	7.4%	33	6.9%	39	+6	7.8%	176	122	▲54
11 トップチーム運営経費	381	7.6%	370	▲11	8.3%	203	11.9%	180	▲23	11.2%	67	14.1%	66	▲1	13.2%	224	209	▲15
12 アカデミー運営経費	126	2.5%	90	▲36	2.0%	69	4.1%	50	▲19	3.1%	23	4.8%	13	▲10	2.6%	75	52	▲23
13 女子チーム運営経費	12	0.2%	10	▲2	0.2%	7	0.4%	7	+0	0.4%	3	0.6%	2	▲1	0.4%	8	6	▲1
14 物販関連費	309	6.2%	263	▲46	5.9%	73	4.3%	74	+1	4.6%	18	3.8%	20	+2	4.0%	135	119	▲16
15 販売費および一般管理費	1,319	26.4%	1,096	▲223	24.6%	457	26.9%	452	▲5	28.1%	163	34.3%	175	+12	35.0%	659	580	▲79
16 営業利益 (▲損失)	▲49	-	▲624	▲575	-	▲47	-	▲110	▲63	-	▲11	-	▲37	▲26	-	▲38	▲254	▲216
17 営業外収益	20	-	76	+56	-	17	-	38	+21	-	5	-	16	+11	-	15	44	+29
18 営業外費用	45	-	16	▲29	-	8	-	5	▲3	-	2	-	2	+0	-	18	8	▲10
19 経常利益 (▲損失)	▲74	-	▲564	▲490	-	▲37	-	▲76	▲39	-	▲8	-	▲23	▲15	-	▲41	▲218	▲177
20 特別利益	11	-	305	+294	-	2	-	39	+37	-	0	-	4	+4	-	4	115	+110
21 特別損失	21	-	36	+15	-	8	-	7	▲1	-	5	-	0	▲5	-	12	14	+3
22 税引前当期利益 (▲損失)	▲84	-	▲294	▲210	-	▲44	-	▲44	+0	-	▲13	-	▲19	▲6	-	▲48	▲117	▲69
23 法人税および住民税等	31	-	2	▲29	-	1	-	6	+5	-	2	-	2	▲0	-	11	3	▲8
24 当期純利益 (▲損失)	▲115	-	▲296	▲181	-	▲45	-	▲50	▲5	-	▲15	-	▲21	▲6	-	▲60	▲121	▲61

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値および前年比が一部一致しないところがある。
※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

2-3. 営業収益（売上高）の推移

2020-2019年度比較 増収13クラブ、減収41クラブ

【2020年J1在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 横浜FM	5,138	5,884	5,864	▲20
2 浦和	7,549	8,218	5,771	▲2,447
3 川崎F	6,074	6,969	5,445	▲1,524
4 名古屋	5,491	6,912	5,236	▲1,676
5 鹿島	7,330	6,768	4,797	▲1,971
6 神戸	9,666	11,440	4,714	▲6,726
7 柏	4,150	3,140	4,613	+1,473
8 FC東京	4,844	5,635	4,588	▲1,047
9 清水	3,983	4,291	4,545	+254
10 G大阪	5,159	5,513	4,491	▲1,022
11 広島	3,367	3,737	3,209	▲528
12 札幌	2,988	3,599	3,096	▲503
13 C大阪	3,871	3,786	2,915	▲871
14 湘南	2,978	2,701	2,188	▲513
15 横浜FC	1,522	1,841	2,165	+325
16 仙台	2,684	2,711	1,997	▲714
17 大分	1,128	1,866	1,756	▲110
18 鳥栖	4,257	2,561	1,649	▲912
合計	82,179	87,572	69,039	▲18,532
平均	4,566	4,865	3,836	

【2020年J2在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 大宮	3,972	3,454	3,034	▲420
2 磐田	3,745	3,813	2,867	▲946
3 千葉	2,893	2,838	2,503	▲335
4 新潟	2,493	2,247	2,194	▲53
5 京都	1,848	2,090	2,101	+11
6 松本	2,239	2,711	1,928	▲783
7 長崎	3,323	2,564	1,858	▲706
8 山形	1,698	1,845	1,674	▲171
9 徳島	1,688	1,763	1,672	▲91
10 福岡	1,831	1,577	1,538	▲39
11 東京V	1,852	1,938	1,493	▲445
12 岡山	1,502	1,567	1,362	▲205
13 町田	755	1,032	1,253	+221
14 甲府	1,511	1,455	1,229	▲226
15 山口	1,126	1,289	1,043	▲246
16 北九州	794	804	986	+182
17 栃木	962	975	855	▲120
18 愛媛	789	777	805	+28
19 水戸	621	752	762	+10
20 金沢	736	760	665	▲95
21 群馬	462	465	622	+157
22 琉球	339	632	560	▲72
合計	36,179	37,348	33,004	▲4,344
平均	1,645	1,698	1,500	

【2020年J3在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 岐阜	1,090	1,079	853	▲226
2 今治	-	-	834	-
3 鹿児島	493	790	698	▲92
4 長野	675	675	564	▲111
5 富山	482	522	548	+26
6 岩手	483	263	527	+264
7 熊本	933	850	517	▲333
8 秋田	435	461	461	0
9 讃岐	704	561	396	▲165
10 相模原	331	348	379	+31
11 沼津	386	401	369	▲32
12 福島	367	325	356	+31
13 藤枝	291	324	293	▲31
14 鳥取	475	455	283	▲172
15 八戸	-	302	261	▲41
16 YS横浜	205	204	73	▲131
合計	7,350	7,560	7,412	▲982
平均	525	504	463	

	54クラブ	55クラブ	56クラブ	
総合計	125,709	132,480	109,455	▲23,026
平均	2,328	2,409	1,955	

【凡例】 : J1在籍 : J2在籍 : J3在籍

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。
 ※ 【2020年J3在籍クラブ】の前年比欄には今治分を含めていない。

2 - 4. スポンサー収入の推移

2020 - 2019年度比較 増収19クラブ、減収35クラブ

【2020年J1在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 浦和	3,226	3,841	3,750	▲91
2 名古屋	3,345	4,077	3,424	▲653
3 柏	1,968	2,206	2,893	+687
4 清水	1,757	1,937	2,753	+816
5 横浜FM	2,033	2,263	2,727	+464
6 FC東京	1,988	2,419	2,284	▲135
7 川崎F	1,478	2,143	2,097	▲46
8 鹿島	2,156	2,303	2,061	▲242
9 G大阪	1,845	1,863	1,898	+35
10 札幌	1,306	1,440	1,736	+296
11 C大阪	1,786	1,707	1,699	▲8
12 神戸	6,208	7,405	1,669	▲5,736
13 広島	1,530	1,582	1,593	+12
14 湘南	1,224	1,129	1,108	▲21
15 横浜FC	924	1,123	1,078	▲45
16 仙台	1,137	1,165	1,015	▲150
17 大分	486	726	862	+136
18 鳥栖	2,296	810	558	▲252
合計	36,693	40,139	35,205	▲4,934
平均	2,038	2,230	1,956	

54クラブ 55クラブ 56クラブ

総合計	59,532	64,019	58,978	▲5,040
平均	1,102	1,164	1,053	

【2020年J2在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 大宮	2,611	2,464	2,452	▲12
2 千葉	1,994	1,954	1,906	▲48
3 磐田	1,869	1,877	1,828	▲49
4 京都	1,243	1,356	1,521	+165
5 長崎	1,183	1,557	1,182	▲375
6 徳島	1,098	1,147	1,157	+10
7 松本	991	1,145	996	▲149
8 町田	370	666	937	+271
9 新潟	1,127	949	920	▲29
10 岡山	763	798	762	▲36
11 福岡	990	693	747	+54
12 甲府	760	800	725	▲75
13 東京V	847	911	672	▲239
14 山口	506	634	568	▲66
15 山形	469	573	558	▲16
16 栃木	525	506	464	▲42
17 北九州	394	384	421	+37
18 愛媛	324	324	376	+52
19 群馬	228	285	319	+34
20 水戸	205	259	291	+32
21 金沢	328	320	275	▲45
22 琉球	156	181	204	+23
合計	18,981	19,784	19,281	▲503
平均	863	899	876	

【2020年J3在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 岐阜	557	589	534	▲55
2 今治	-	-	525	-
3 岩手	118	144	424	+280
4 富山	321	341	382	+41
5 鹿児島	330	401	356	▲45
6 長野	417	419	354	▲65
7 熊本	431	366	321	▲45
8 秋田	255	266	266	0
9 相模原	212	230	265	+35
10 藤枝	228	254	222	▲32
11 讃岐	268	241	207	▲34
12 沼津	186	220	204	▲16
13 福島	246	214	169	▲45
14 八戸	-	152	123	▲29
15 鳥取	245	221	118	▲103
16 YS横浜	44	39	22	▲17
合計	3,858	4,097	4,492	▲130
平均	276	273	281	

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。
 ※ 【2020年J3在籍クラブ】の前年比欄には今治分を含めていない。

2 - 5. 入場料収入の推移

2020 - 2019年度比較 増収4クラブ、減収51クラブ

【2020年 J 1 在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 横浜 FM	1,127	1,286	497	▲789
2 鹿島	978	996	475	▲521
3 川崎 F	975	1,042	435	▲607
4 浦和	1,923	2,300	423	▲1,877
5 神戸	840	1,260	422	▲838
6 名古屋	936	1,221	378	▲843
7 G大阪	1,152	1,247	324	▲923
8 F C 東京	947	1,104	314	▲790
9 C大阪	618	677	310	▲367
10 清水	582	702	295	▲407
11 広島	500	547	272	▲275
12 大分	254	472	259	▲213
13 札幌	636	779	244	▲535
14 鳥栖	678	760	216	▲544
15 仙台	608	615	168	▲447
16 湘南	480	438	161	▲277
17 横浜 F C	167	197	151	▲46
18 柏	449	414	143	▲271
合計	13,850	16,057	5,487	▲10,299
平均	769	892	305	

54クラブ 55クラブ 56クラブ

総合計	19,251	21,581	8,426	▲13,154
平均	356	392	150	

【2020年 J 2 在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 新潟	507	500	370	▲130
2 松本	503	695	245	▲450
3 京都	173	198	202	+4
4 磐田	638	531	189	▲342
5 北九州	107	124	154	+30
6 長崎	407	257	147	▲110
7 福岡	174	137	144	+7
8 千葉	332	326	133	▲193
9 岡山	176	186	123	▲63
10 山形	178	241	115	▲126
11 山口	212	216	100	▲115
12 大宮	339	332	96	▲236
13 東京 V	178	177	90	▲87
14 甲府	297	286	90	▲196
15 徳島	135	172	82	▲90
16 水戸	84	114	69	▲45
17 栃木	115	113	69	▲44
18 町田	108	115	53	▲62
19 群馬	43	44	43	▲1
20 金沢	69	72	38	▲34
21 愛媛	56	61	37	▲24
22 琉球	10	47	21	▲26
合計	4,841	4,943	2,610	▲2,333
平均	220	225	119	

【2020年 J 3 在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 熊本	106	83	49	▲34
2 岐阜	131	116	39	▲77
3 長野	46	45	34	▲11
4 鹿児島	27	104	32	▲72
5 鳥取	34	32	25	▲7
6 讃岐	74	45	24	▲21
7 相模原	35	38	22	▲16
8 富山	28	30	22	▲8
9 秋田	20	20	19	▲1
10 今治	-	-	19	-
11 岩手	9	8	9	+1
12 藤枝	8	11	8	▲3
13 沼津	16	12	8	▲4
14 福島	12	14	7	▲7
15 Y S 横浜	14	12	7	▲5
16 八戸	-	10	5	▲5
合計	560	580	329	▲270
平均	40	39	21	

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。
 ※ 【2020年 J 3 在籍クラブ】の前年比欄には今治分を含めていない。

2-6. チーム人件費の推移

2020-2019年度比較 増加29クラブ、減少25クラブ

【2020年J1在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 神戸	4,477	6,923	6,396	▲527
2 名古屋	2,823	3,973	3,525	▲448
3 浦和	3,108	3,228	3,119	▲109
4 川崎F	2,614	2,958	3,036	+78
5 FC東京	2,133	2,736	3,034	+298
6 横浜FM	2,301	2,684	2,962	+278
7 柏	2,806	2,940	2,879	▲61
8 G大阪	2,193	2,434	2,721	+287
9 鹿島	3,157	2,936	2,550	▲386
10 広島	1,864	1,931	2,040	+109
11 C大阪	2,334	2,406	2,020	▲386
12 清水	1,811	1,729	1,937	+208
13 札幌	1,502	1,698	1,614	▲84
14 鳥栖	2,670	2,528	1,389	▲1,139
15 仙台	1,232	1,296	1,246	▲50
16 大分	482	860	1,154	+294
17 湘南	1,384	1,263	1,121	▲142
18 横浜FC	734	916	1,010	+92
合計	39,625	45,439	43,753	▲1,688
平均	2,201	2,524	2,431	

54クラブ 55クラブ 56クラブ

総合計	58,232	64,358	62,746	▲1,612
平均	1,078	1,170	1,120	

【2020年J2在籍クラブ】

(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 千葉	1,272	1,153	1,444	+291
2 磐田	1,721	1,995	1,405	▲590
3 長崎	814	1,029	1,382	+353
4 大宮	1,915	1,547	1,300	▲247
5 松本	1,145	1,430	1,090	▲340
6 福岡	909	784	968	+184
7 京都	692	895	929	+34
8 徳島	952	892	916	+24
9 新潟	1,108	722	821	+99
10 東京V	733	713	660	▲54
11 岡山	638	634	635	+1
12 甲府	747	707	609	▲98
13 山形	524	549	605	+56
14 山口	468	527	505	▲22
15 町田	278	402	497	+95
16 愛媛	353	406	410	+4
17 水戸	275	321	335	+14
18 北九州	287	250	330	+80
19 琉球	99	252	315	+63
20 栃木	353	365	314	▲51
21 金沢	331	311	312	+1
22 群馬	223	184	242	+58
合計	15,837	16,069	16,024	▲45
平均	720	730	728	

【2020年J3在籍クラブ】

(百万円)

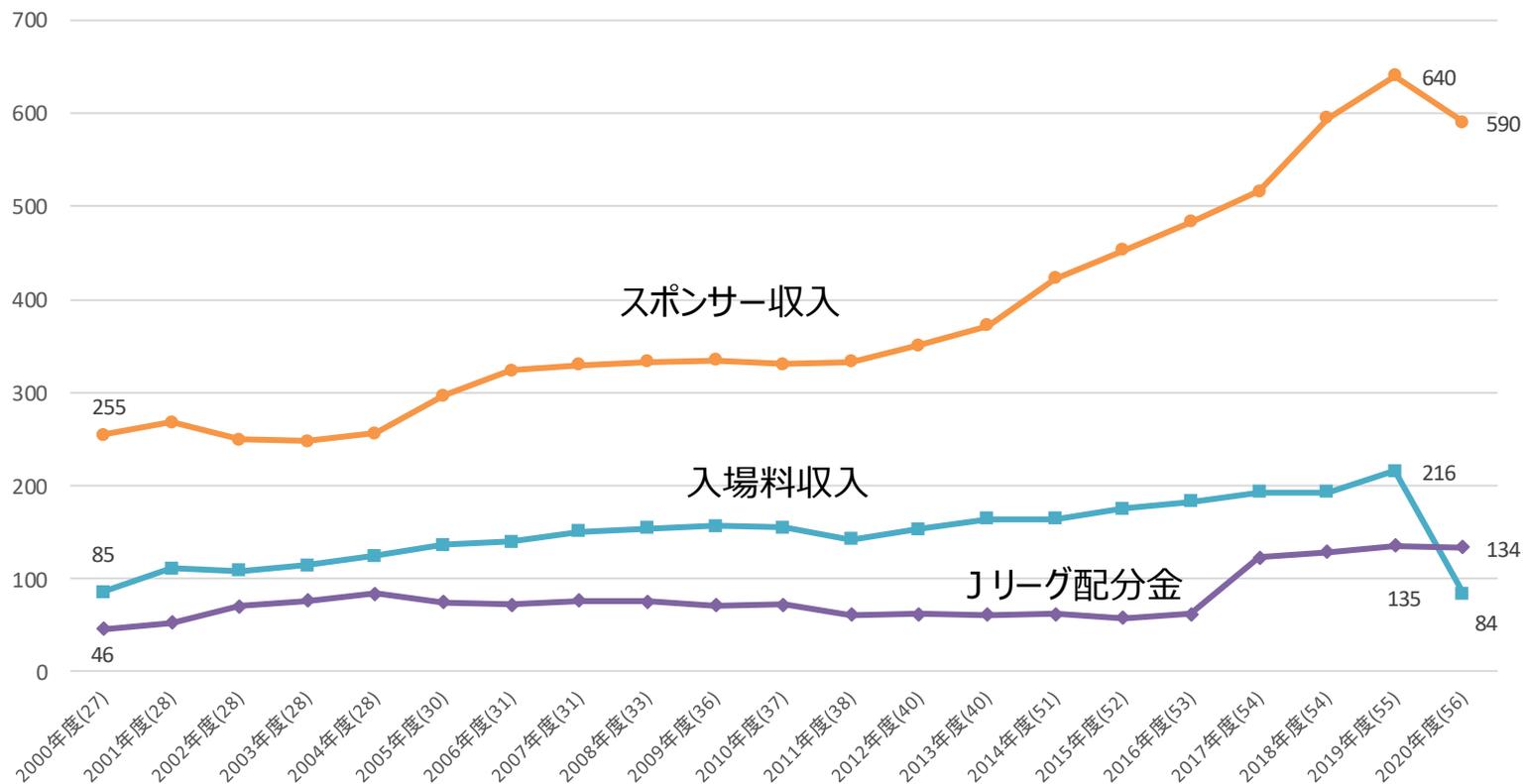
	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
1 岐阜	365	461	333	▲128
2 若手	268	114	277	+163
3 鹿児島	179	296	272	▲24
4 長野	293	294	248	▲46
5 熊本	400	310	241	▲69
6 今治	-	-	233	-
7 讃岐	301	263	189	▲74
8 秋田	148	161	184	+23
9 富山	195	200	180	▲20
10 藤枝	119	164	178	+14
11 相模原	109	121	151	+30
12 沼津	118	116	128	+12
13 福島	125	124	122	▲2
14 鳥取	106	114	114	0
15 八戸	-	81	70	▲11
16 YS横浜	44	32	49	+17
合計	2,770	2,851	2,969	▲115
平均	198	190	186	

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。
 ※ 【2020年J3在籍クラブ】の前年比欄には今治分を含めていない。

2-7. 営業収益主要項目の推移

入場料収入が大幅に減少したものの、スポンサー収入は前年比1割弱の減少に留まった。

(単位：億円)



※2010年度以前のJリーグ配分金には、賞金が含まれている。

※2020年度Jリーグ決算発表における配分金の公表数値とは、Jリーグとクラブとの決算月のずれ等によって差異が生じている。

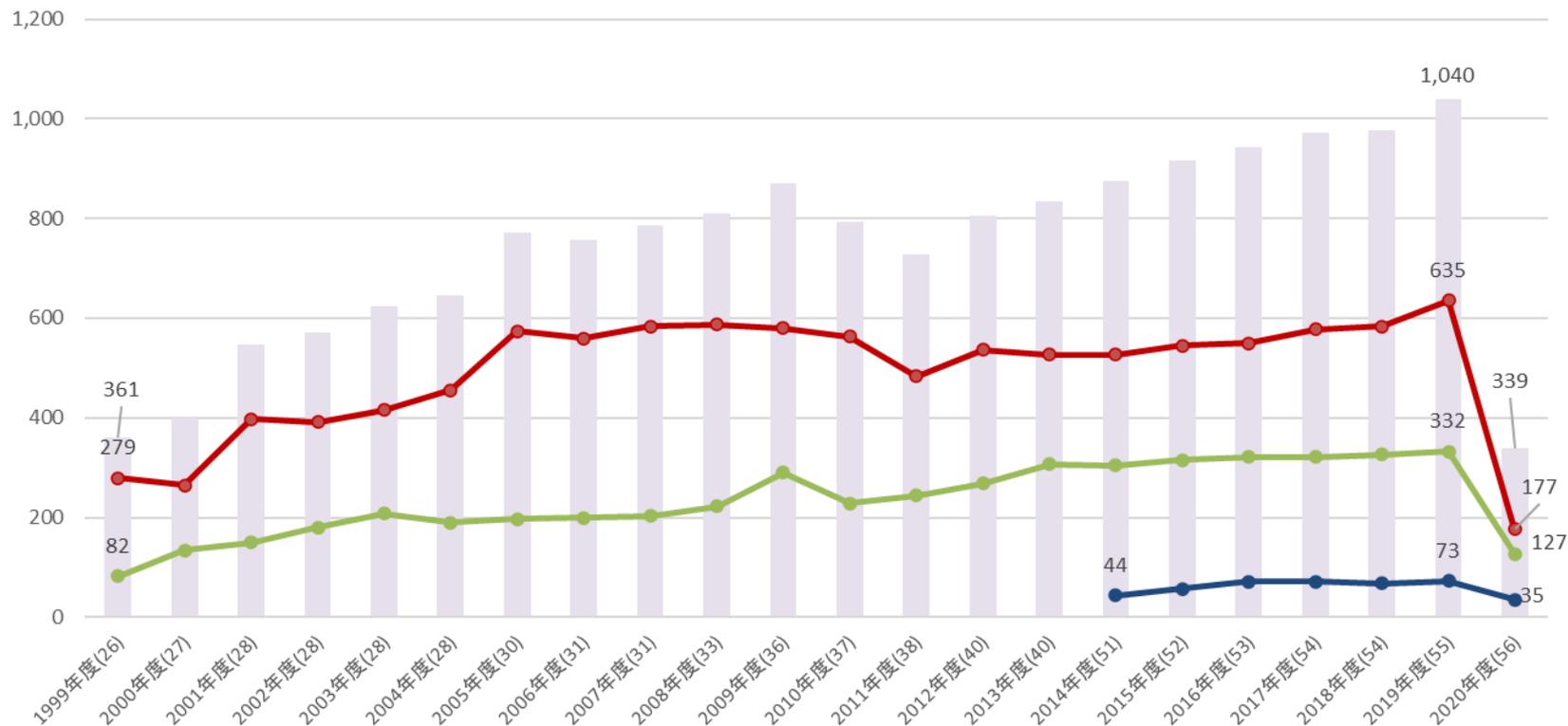
2-8. リーグ戦総入場者数の推移



リーグ戦（J1・J2・J3）の総入場者数は 3,393,164人（前年度 ▲7,004,318人）

(単位：万人)

■ リーグ総合計 ● J1 ● J2 ● J3

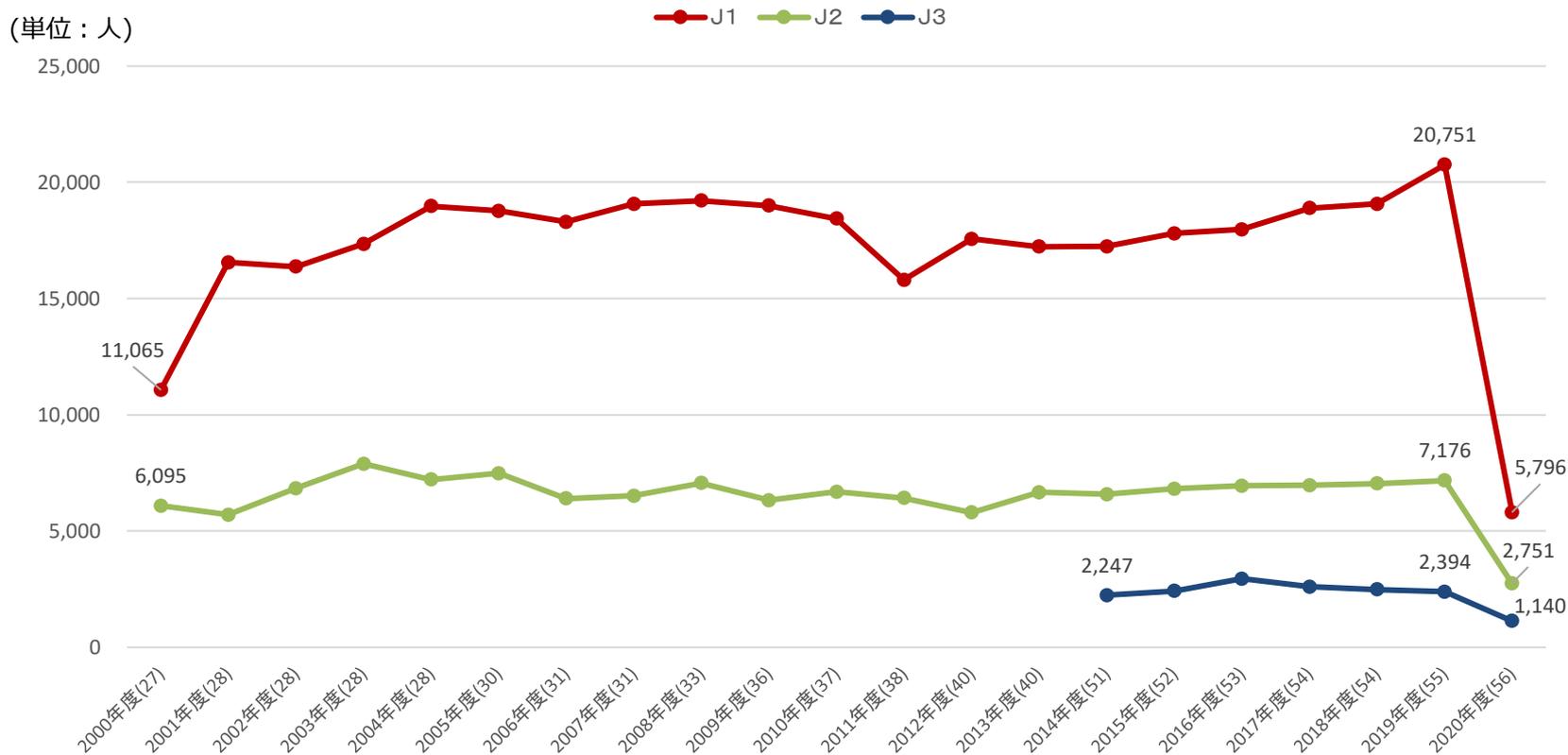


※2020年度総入場者数は、3,627,544人(前年比▲7,682,892人)
 含：リーグ戦、リーグカップ戦、スーパーカップ、ACL

2-9. 1試合当たりの平均入場者数(リーグ戦のみ)の推移



- J1の平均入場者数は5,796人(前年度▲14,955人)
- J2は2,751人(前年度▲4,425人)、J3は1,140人(前年度▲1,254人)
- J1・J2・J3全体の平均入場者数(Jリーグ総合計)は3,159人(前年度▲6,522人)



3. 「赤字」と「債務超過」の違い



1. 損益総括

(百万円)

	金額
営業収益	791
スポンサー収入	418
入場料収入	131
Jリーグ配分金	96
アカデミー関連収入	29
物販収入	45
その他収入	72
営業費用	907
チーム人件費	338
試合関連経費	92
トップチーム運営経費	143
アカデミー運営経費	30
女子チーム運営経費	0
物販関連費	31
販売費および一般管理費	273
営業利益	▲ 116
経常利益	▲ 115
税引前当期利益	▲ 115
法人税および住民税等	1
当期純利益 (損失)	▲ 116

2. 貸借対照表

(百万円)

	金額
流動資産	119
固定資産	40
資産の部 合計	159
流動負債	211
固定負債	4
負債の部 合計	215
資本金	285
資本剰余金	85
利益剰余金	▲ 426
資本 (純資産) の部 合計	▲ 56

} 出資や増資等で得た資金はここにカウント
 →これまでの黒字 (赤字) の累積
 →ここがマイナスなら「債務超過」

債務超過を解消する = (純資産を0以上にする) 方法

- (1) 資本金を増やす
→ 増資の実行 (資本金を出す人を募る)
- (2) 利益剰余金を増やす (マイナスを消す)
→ 当期純利益を出す
 - 費用を削減して利益を出す (チーム人件費、試合運営費、etc.)
 - 収入を増やして利益を出す (広告料、入場料、etc.)

したがって左のクラブの場合、債務超過解消には、

- ① 5,600万円以上の増資
- ② 5,600万円以上の当期純利益
- ③ 増資と利益の合計が5,600万円以上のいずれかの手段を取らなければならない。